



創英の風

2024年冬号
(第28号)

2024年12月13日発行
発行人：上條 優子（図書館長）
編集人：図書・研究委員会

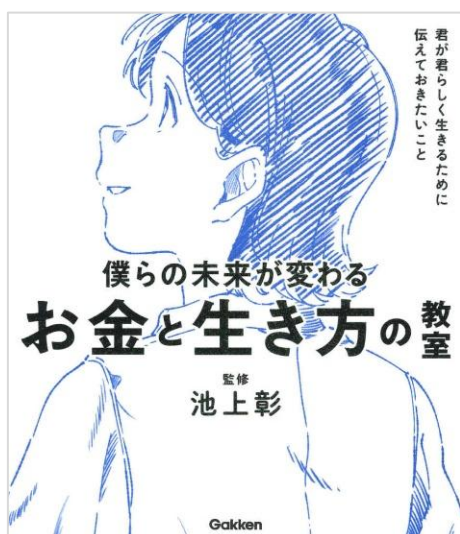
教職員からのおすすめ本



こども教育学部 武井 博美先生
『六人の嘘つきな大学生』
浅倉秋成/著
出版社名：角川文庫
出版年月：2023年6月

就活を機に知り合った六人の大学生たちの中から、「犯人」を探し出すというミステリー小説です。第一印象は、全員が爽やかで優秀。さすが人気企業の最終選考に残っただけのことはある人材ばかりです。ですが、次第に六人がついていた嘘が暴かれていき、印象がガラリと変化します。

この作品が秀逸なのは、読者の第一印象を裏切るだけで終わらない点です。途中、「月の裏側は地球からは見えない」という台詞が語られる場面があるのですが、この意味も深く考えさせられる内容となっています。縦横無尽に張り巡らされた伏線が次々と回収されていくという爽快感もあり、時間を忘れて没入できます。「読書の愉しみ」を存分に味わえる一冊です。



看護学部 染谷 奈々子先生
『僕らの未来が変わる お金と生き方の教室』
池上彰/監修
出版社名：Gakken
出版年月：2023年3月

「喜劇王チャーリー・チャップリンは、こう言いました。‘人生には三つのものがあればいい。希望と勇気とサムナー（少しのお金）’」（p.003）、サムナーとは？と読み進めると…。

経済の仕組み、新しいお金の考え方、より豊かな生き方について、圧倒的に分かりやすい解説で、高校生に拡充された金融教育の内容が網羅されていて、必要な教養にふれることができました。

大学生、大人になってからもお金と世の中についてちゃんと知り、考えを深めていくと、行動や生活、未来が変わるかも！？ 経済学がご専門の‘樋口先生’のご講義を受講したように感じた1冊です。



教職員からのおすすめ本



看護学部 齊藤 美恵先生

『ソフィーの世界』

ヨースタイン・ゴルデル/著 池田香代子/訳

出版社名：NHK出版

出版年月：1995年6月

ある日突然「あなたはだれ？」と問いかけられたら、あなたはどうか答えますか？両親に貰った名前を持っている私、戸籍や住民票に記録がある私…あなたはそんな風に答えるかもしれませんね。だけど、両親に貰った名前をもっているあなた、住民票に記録されたあなたが本当のあなたですか？あなたは、「本当のわたしがあるはず！」そう思ったことはありませんか？あなたは一体どこから「ここ」へやって来たのでしょうか。そしてどこへ行ってしまおうのでしょうか。そもそも、あなたがやってきた「ここ」とはどこを指しているのでしょうか。あなたが「社会」とか「世界」と考えている現象はどのように生じているのでしょうか？あなたが見ている「社会」や「世界」、「友達」や「家族」は誰の目にも同じように映る現象なのでしょうか？

北欧に住む15歳の女の子ソフィーは、ある日「あなたはだれ？」とだけ書かれた手紙を受け取り、その答えを求める旅を送ることになります。実はこの問いは古代の人々も一所懸命に考えてきた問いであり、哲学となって現代に引き継がれています。さて、あなたはどんな答えに辿り着くのでしょうか…。何年か後に「社会」へと旅立つ前に、本当のあなたを探す旅へこの本と一緒に出掛けてみませんか？



こども教育学部 相賀 頌子先生

『はてしない物語』

ミヒャエル・エンデ/著 上田 真而子/訳

出版社名：岩波書店

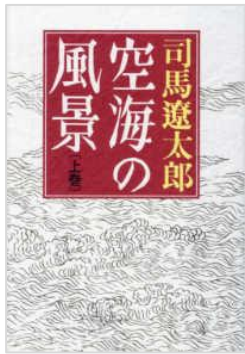
出版年月：1982年6月

主人公のバスチアン（10歳）は学校で教師や同級生にいじめられ、家でも唯一の家族の父親に放任されている孤独な生活を送っていました。そんなある日、本屋で一冊の不思議な本を見つけ、その本の中の壮大な「ファンタジー」の世界へ飛び込んでいき、その物語の主人公とともに冒険を通して様々な困難を乗り越え、成長するお話です。

「ファンタジー」での不思議な建物、様々な種族、壮大な景色が繊細に描かれていて、目の前に世界が広がるような描写に子どもの頃、学童保育の読み聞かせの時間に夢中になったことを覚えています。この本は大人になっても、子どもの頃に内側に持っていた、ファンタジーの世界「幼心の自分」を再び体験でき、楽しめる作品です！



職員・学生からのおすすめ本



学務課 蓑島 久照さん
『空海の風景』
司馬遼太郎/著
出版社名：中央公論新社
出版年月：2024年3月(新版)



図書館司書 日笠山 由佳さん
『赤と青のガウン』
彬子女王/著
出版社名：PHP研究所
出版年月：2024年4月

「弘法も筆の誤り」「お遍路（四国八十八箇所）」をご存じですか。

若い皆さんに空海（諡号は弘法大師）を知る契機として、この本を紹介します。

この小説は昭和48年から昭和50年に新聞連載小説として発表され、司馬遼太郎さんが愛した小説の一つと聞いております。新聞連載のため、一定の文章量で区切れ、読みやすく、何度か繰り返される部分もあり、思い出すように読むことができます。唐での恵果和尚や最澄とのやり取りなどは司馬さんの熱を帯びた文章で引き込まれます。

空海（774-835年）は平安時代（794-1185年）の初期に生まれました。今年のNHK大河ドラマ「光る君へ」の紫式部や藤原道長（966-1028年）が生きた時代の200年ほど前です。時代の様子・匂い・風景も感じてください。

今上天皇のはとこにあたる彬子女王が、オックスフォード大学に留学していた時のエッセイです。皇族の知らない世界を垣間見ることができ、またご苦労がありながら多くの友人と楽しく過ごされた様子がとても読みやすい文章で書かれており、読みだしたら止まらない1冊です。登場するイギリスの各地を訪れてみたくもなります。

個人的には、旅行に行くとか何かしらのハプニングが起こり話題に事欠かない彬子女王の体質(?)に非常に共感を覚えました。

本書はオックスフォード大学留学時代のエッセイですが、その後の京都でのお話も書籍化されていますので、ご興味がありましたら是非。



こども教育学部1年生
福島 瑞希さん
『表参道高校合唱部!』
櫻井剛/脚本 桑畑絹子/小説
出版社名：Gakken
出版年月：2016年2月

私が、みなさんに紹介したいのは、表参道高校合唱部!という本です。合唱が大好きな転校生・真琴が、廃部寸前の合唱部を立て直し、歌の力で学校に奇跡を起こしていく、青春物語です。

歌には人と人々を繋ぐ、大きな力があるということ、一生懸命に頑張る姿は、周りの人に勇気や希望を与えるということ、読んだ人に、たくさんのことを教えてくれる、そんな本となっています。是非、みなさんも読んでみてください。



こども教育学部3年生
穂坂 美怜さん
『もうぬげない』
ヨシタケシンスケ/作・絵
出版社名：ブロンズ新社
出版年月：2015年10月

この絵本はお風呂に入るために洋服を脱ごうとした男の子が、頭が抜けなくなって洋服が脱げなくなってしまい、この状況をどう乗り越えるのかというお話です。男の子は無理に洋服を脱ごうとするのではなく、こういう状況になったらこうしよう!というユニークな考えをたくさん持っているの、その発想に驚くとともに自分の考え方も柔軟に、ユーモアがあるものになるのではないかと思います。

男の子の発想力と柔軟な考えを楽しむことができるのはもちろん、絵がとても可愛らしくて文がなくても楽しめる絵本になっていると思います。小さい子どもから大人まで幅広い年齢層で楽しめる絵本です。



図書館からのお知らせ



認定絵本士コーナーができました！

『認定絵本士®養成講座テキスト』掲載
おすすめの絵本コーナーができました！



コーナーには、書名から探せるリストが置いてあります。ぜひご活用ください！

冬の長期貸出

以下の期間に貸出をした図書は、通常より長く貸出をします。冬休みの読書に、ぜひご利用ください！

貸出日 12/7（土）～12/23（月）
返却日 1/14（火）

※長期貸出の延長はできません。

展示コーナー歳時記

12月 本の貸出福袋

司書がテーマごとに選んだ本を1袋につき2冊詰め合わせ、中身がわからないまま貸出します。2024年の締めくくりは、新しい本との出会いを楽しんでみませんか？数量限定です♪



◆10月～12月のテーマ◆

「医療・看護系の小説・マンガ・えほん」
～36冊を展示中です～

◆2025年1月～2月のテーマ◆

「直前！！国家資格受験対策」



図書館開館予定

« 2024年12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

« 2025年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

□ 8：30～20：00

■ 10：00～17：00

■ 短縮開館 9：00～17：00

■ 休館日

開館日・開館時間は変更になる可能性があります。
その際は、掲示等にてご案内いたします。